

常任委員会



水道事業会計補正予算(第4号)について

Q 営業収益2,943万2,000円を減額した理由は。

A 給水量が令和5年度は143万7,110立米でしたが、令和6年度は5%減の136万5,000立米となる見込みであり、水道使用料金収益が減ることによるものです。

Q 南摩ダム水源地域整備事業負担金1,447万4,000円を減額した理由は。

A 思川開発事業では、ダム周辺の道路や林道の整備等、6事業を予定していましたが、見込みより事業が進まなかったため減額となりました。減額分は翌年度の事業費に繰越をし、令和8年度には事業が終了する予定となります。

Q 条例の一部改正において、改正後の条例番号でも「五霞村」となっているが、「五霞町」にはならないのか。

A 新規制定や全部改正の場合は、「五霞町」になりますが、一部改正の場合は、制定当時の「五霞村」となります。

一般会計補正予算(第7号)について

Q 債務負担行為補正の地域公共交通運行負担金91万2,000円を増額補正した理由は。

A コミュニティ交通ごかりん号の運行負担金として、2,700万円を計上していましたが、燃料費等の高騰により増額補正をして、令和7年度の契約をするものになります。



予算特別委員会



Q 町職員の部署異動は、何年毎に実施するというような決まりはあるのか。

A 人材育成基本方針の中では、経験年数の浅い職員は、概ね3年に1度ジョブローテーションを実施し、窓口系や管理系、事業系など様々な部署を経験させ育成することを定めています。その他の職員は5年を目安に実施しています。

Q 町職員の採用試験において、男女比は考慮しているのか。

A 現在の職員比率は、男性6割・女性4割の比率となっています。採用時には、男女関係なく、総合的に判断をしています。

Q シン・いばらきメシ総選挙2024の一般料理部門でグランプリを受賞した、シン・茨城あげそばの売上げ状況は。

A 現在、道の駅ごかで販売をしており、売上げは好調です。今後は、町内事業者や県内の道の駅で販売ができないか検討をしていきます。また、銀座にあるアンテナショップIBARAKIsenseで、販売ができるよう調整をしているところです。

